

令和5年度の営農再開の見通し

ご説明内容

1. 令和5年度の営農再開の見通し
2. 地区別の営農再開の見通し



(写真)浪江町苧宿カントリーエレベーター(令和3年度から稼働開始)・浪江町棚塩カントリーエレベーター(令和4年度から稼働開始)

令和4年12月13日～15日

場所：浪江町地域スポーツセンター「サブアリーナ」

JA福島さくら

1.令和5年度の営農再開の見通し

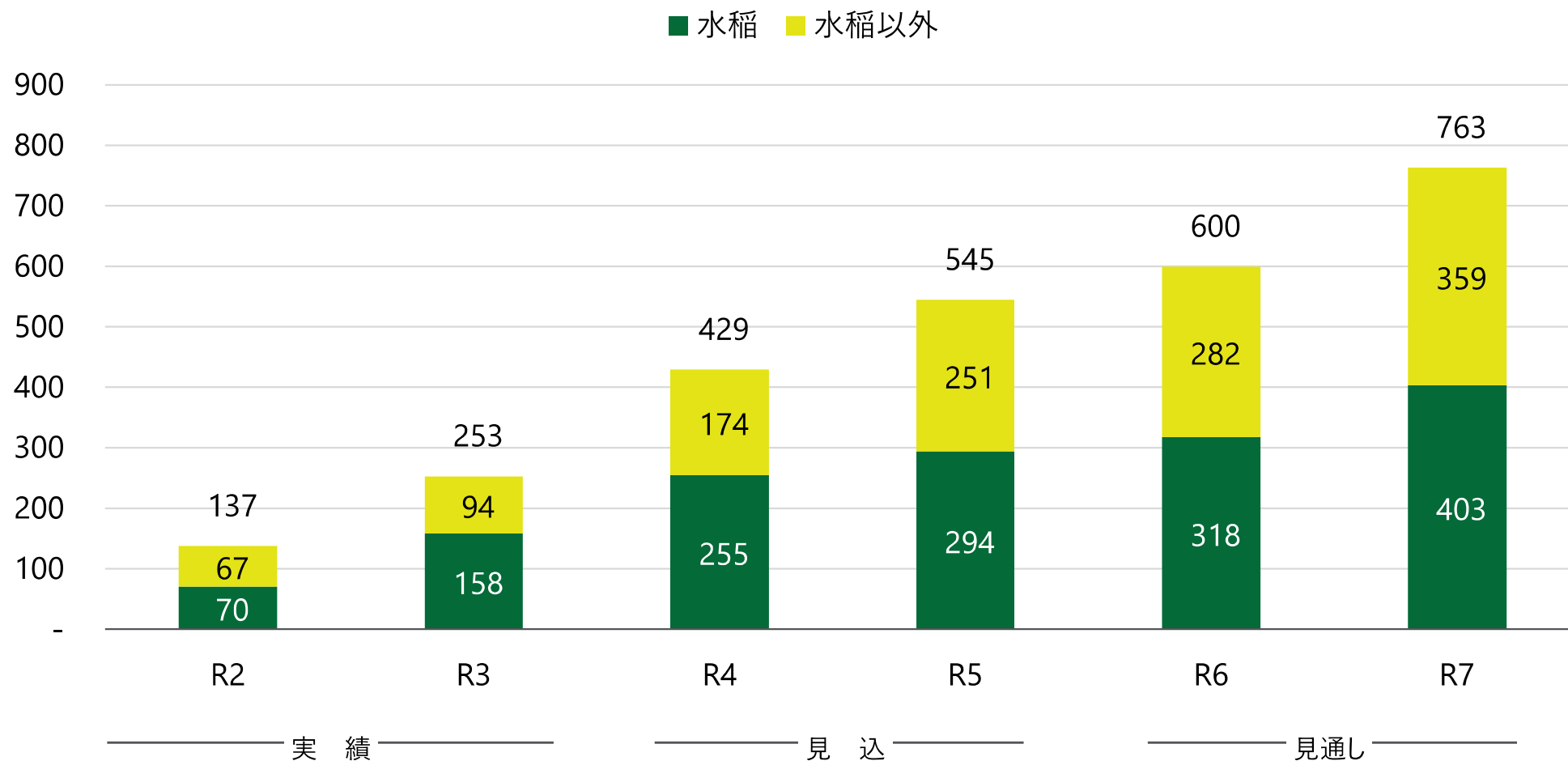
※本見通しは、令和4年12月8日時点の当組合で農地調整している結果に基づいて集計しています。
今後の調整の中で変更になる可能性があります。

令和5年度の営農再開面積は545ha(うち水稲294ha)、令和7年度までの見通しは全体で763ha(うち水稲403ha)となっています

営農再開面積の見通し(令和4年12月8日時点)

(単位：ha)

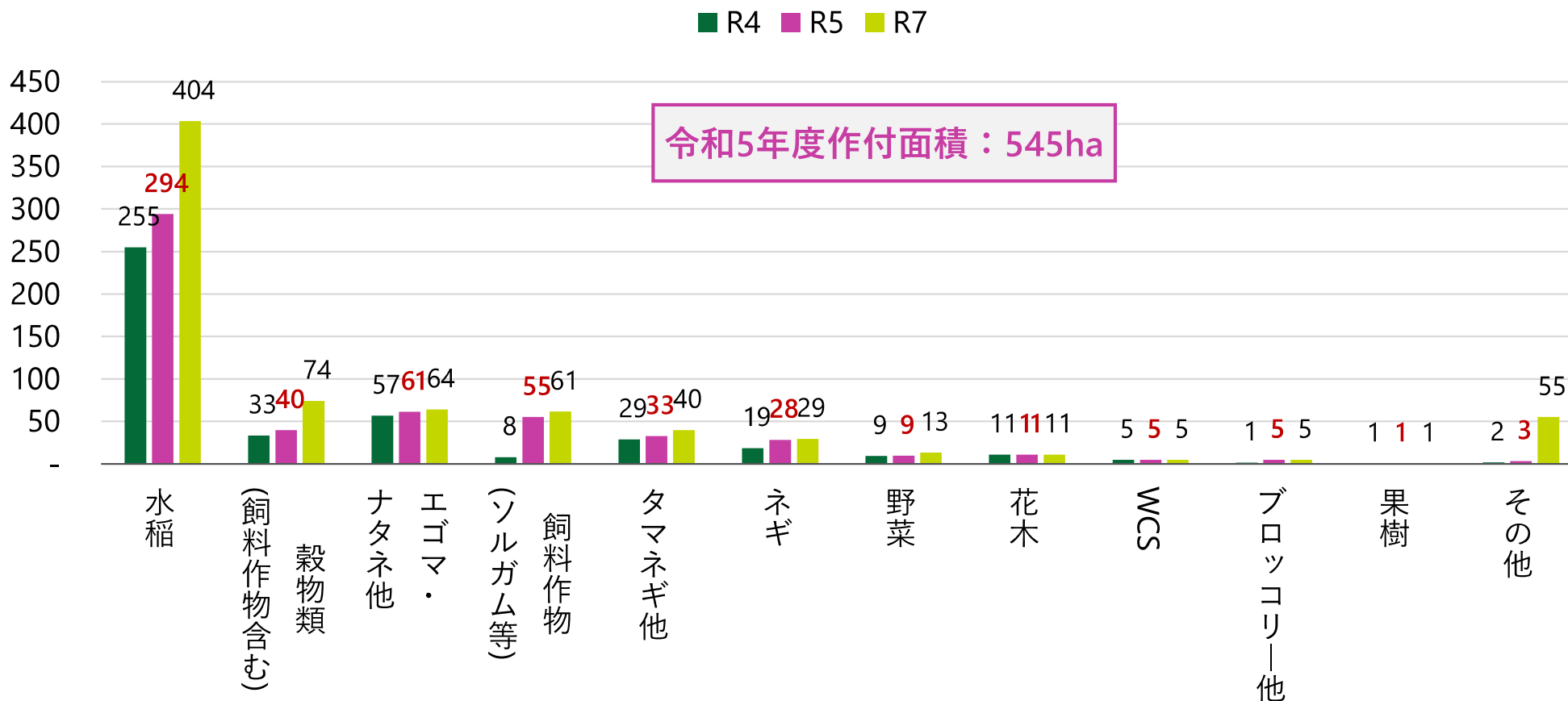
※特定復興再生拠点区域の農地は含まない。



令和5年度の作付予定面積545haのうち、水稲が294ha、エゴマ・ナタネ61ha、実証栽培の飼料作物55ha、麦・ソバ・大豆等の穀物類40ha、タマネギ33ha、タマネギ33ha、ネギ28haと続く

営農再開面積の見通し【品目別】(令和4年12月8日時点)

(単位：ha)

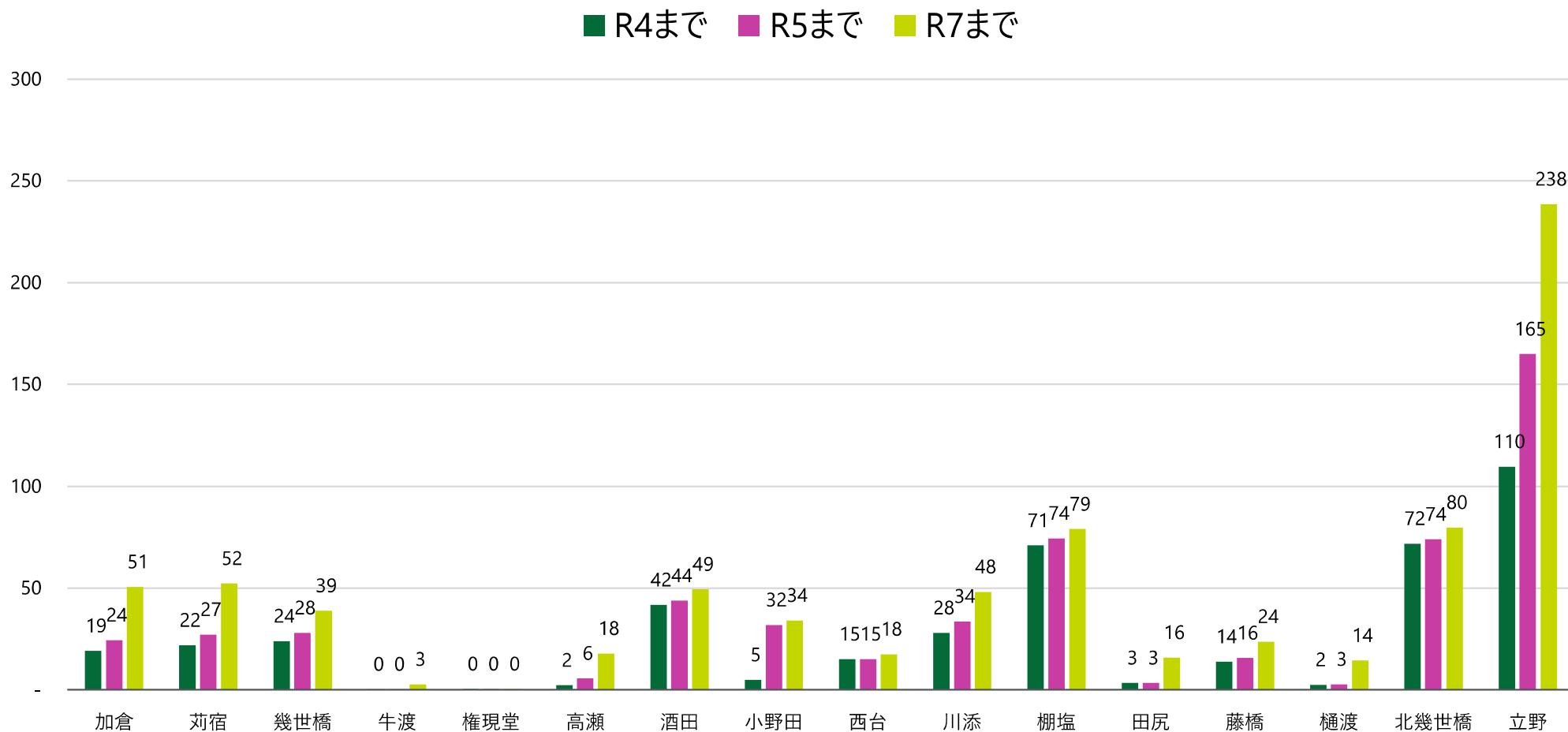


注：穀物類：麦・ソバ・大豆・飼料作物等
 エゴマ・ナタネ他：エゴマ・ナタネ等の複数品目を含む。一部、エゴマ・ナタネ・ソバ等の品目を含む
 飼料作物(ソルガム等)：実証・全酪連等
 ネギ：長ネギ、ネギ
 その他：未定・自己保全・景観作物、堆肥ヤード等の置き場等
 出所：JA福島さくらGISデータ(2022年12月8日)より作成

請戸川北地区の営農再開先行地域で営農再開が徐々に進む見通しです。
 地区毎の実情に応じて将来の担い手確保・農地利用の方向性の検討が必要です

地区別の営農再開面積の見通し【全品目等】

(単位：ha)

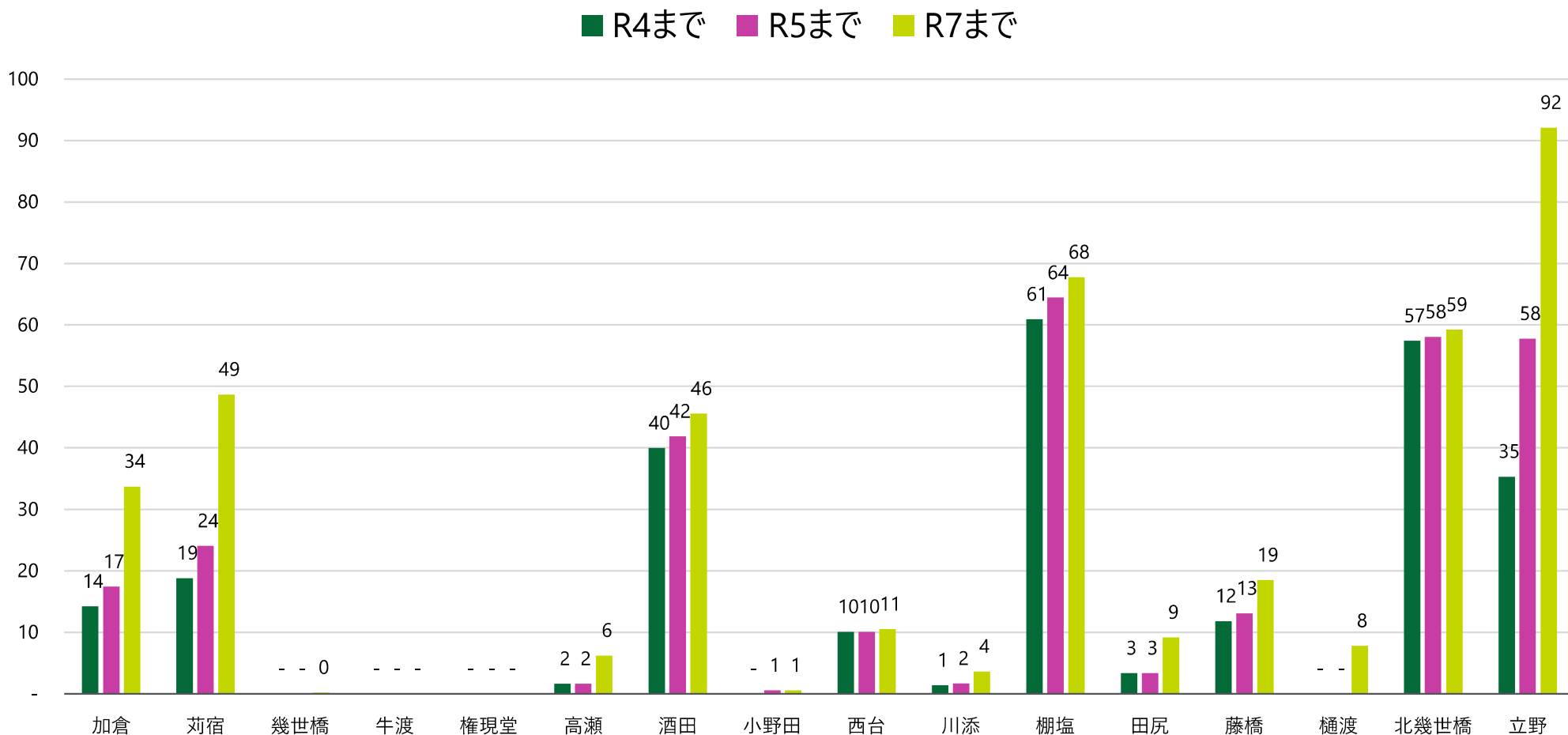


出所：JA福島さくらGISデータ（2022年12月8日）より作成

水稲作付も請戸川北地区中心に作付拡大の見通しです。通水のタイミングを踏まえた水稲作付拡大、カントリーエレベーター等施設利用率を向上していきたいと考えます

地区別の営農再開面積の見通し【水稲のみ】

(単位：ha)



出所：JA福島さくらGISデータ（2022年12月8日）より作成

【参考】特定農作業受委託契約締結の流れ

JA福島さくらは、町及び関係機関と連携して、特定農作業受委託契約の締結代行業務を推進しています

①地権者意向調査（アンケート）

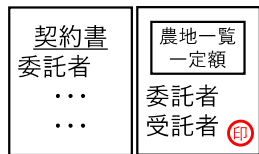
町等が、貸出意向のある農地を確認

アンケート ↓ ↑ 回答

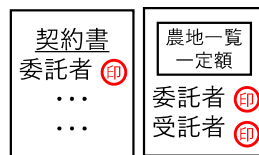
**委託者
(農地所有者)**



④契約書（受託者及び一定額）提示



⑤契約書返送



⑤でNGの場合は、②③④を再調整

マッチング（JAが窓口）

- 農地所有者（委託者）の意向と担い手（受託者）の意向を踏まえ、農地をマッチング。
- JAより契約書を送付。もしくは担い手が訪問

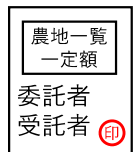
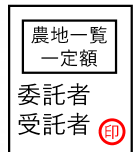
特定農作業受委託契約の締結

- 委託者に対し、受託者及び一定額を提示
- 双方に契約書に押印頂き返送してもらう

②作付希望農地の確認

③契約書の作成

**受託者
(農家・担い手)**



【参考】特定農作業受委託契約

管理耕作には特定農作業受委託契約が必要です

- **基幹農作業**（米の場合：耕起・代かき、田植え、収穫・脱穀）に加え、**収穫物の販売**も委託。
- 受託者(農家・担い手)は、販売収入のうちから**一定額を委託者(農地所有者)に支払う**。

委託者(農地所有者)

直ぐに帰還しない農業者
(農地の所有者)



基幹農作業 + 収穫物の販売
を委託



¥ 一定額*の支払い

受託者(農家・担い手)



収穫物の
販売収入



*一定額は、特定農作業受委託契約を締結する際に、委託者と受託者の間で決定するもの。